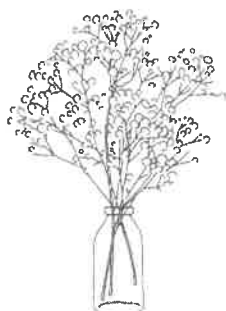


センター通信



カスミソウ

『感謝』の気持ち

伊丹市教育委員会事務局学校教育課

生徒指導担当指導主事 大波 智博

先日、とある新聞を読んでいたら、「看板のない居酒屋 岡むら」の代表 岡村佳明 氏の記事が載っていました。岡村氏は看板なし・宣伝なし・入口も分からないという100%口コミがコンセプトの「居酒屋 岡むら」を立ち上げ、現在は全国各地で若者や経営者などに向けて講演を行うなど活動の幅を広げている方です。

その岡村氏は「おふくろの居酒屋で夜働けば、昼間は海で遊べる」と軽い気持ちで23歳の頃から母親のお店の手伝いをするようになりました。

それから10数年が経ち、岡村氏の母親が「最後の夢で、もう一度このお店を新しく立て直したい。」と言ったそうです。

それを聞いた岡村氏は面倒くさくて、乗り気ではありませんでした。すると、その態度を見た常連さんにすごい剣幕で怒られました。

「おめえはいくつになっても馬鹿野郎だな。それは母さんの夢じゃなく、30過ぎてもチャランポランなおめえの将来を心配してのことじゃねえか！お前の母さんは言ってたぞ。『あの子がいつ本気になってもいいように、私の目の黒いうちにお店を新しくしておきたい』ってな」

岡村氏はこの話を聞いてハンマーで頭を殴られたような衝撃を受けました。そして、そこから母親への感謝の気持ちがあふれ出てきて、本気で居酒屋経営をしようと心に決めて、今の活躍があるそうです。

この記事を読んで、ふと思い出したことがありました。

それは昨年、私が高校の国語の授業見学をしたときで、生徒たちは、「食の履歴書」という単元の中で、各自の「食」についての歴史を振り返り、履歴書を作成していました。

授業を見学しながら、「そういえば、私の母親の料理はやたらみじん切りの料理が多かったなあ」と思い返しました。

そのことを家に帰って妻に言うと、「そりゃあ、好き嫌いが多かったからでしょ？お義母さん、『あの子は好き嫌いが激しかったから、なんでもかんでもみじん切りにしないと食べなかったんよ』って言ってたからね」と言われました。

そのことを知ったとき、私も岡村氏と同じように衝撃を受けたと共に、母親への感謝の気持ちがかみ上げてきました。

感謝すべきことはそこらじゅうにあって、でも、それに気づけていないことはたくさんあるものだなあと改めて気づかされました。

そして、感謝すべきことに気づくことが、自分の幸福感を高めていくのだなあと思いました。

家庭で、学校で、地域で「感謝」の気持ちがあふれることが青少年の健全育成にとっても必要で、その大切さを感じながら、私自身もそんな世の中の一翼を担えることを目指して、日々精進してまいります。

令和7年度 伊丹市青少年を守る店連絡協議会 定期総会・量販店部会研修会

7月4日(金)、スワンホールにて伊丹市青少年を守る店連絡協議会 定期総会・量販店部会研修会が開催されました。

総会では、全ての議事が滞りなく可決されました。総会に続いての量販店部会研修会では、始めに伊丹市立天神川小学校 生徒指導担当 谷林 夕香 主幹教諭から「子どもも教師も毎日楽しく登校できる学校」への取り組みについての発表がありました。課題解決のために、様々な場面で工夫をこらしておられることがよく分かりました。続いて、兵庫県警察本部少年課 阪神北少年サポートセンター所長 位田 道俊 様が、最近の中学生の事例を挙げて「少年非行の現状」についてご講演くださいました。お二人のお話から、私たち地域の大人が子どもに声をかけ、見守りつつ、「子どもの居場所」をつくること、そして「自己肯定感」を高める一助を行うことができればよいと考えました。一方、学校や関係機関等と情報を共有し、連携をとっていくことも大切だと思いました。

令和7年度 第1回 伊丹市立少年愛護センター 運営協議会

7月23日(水)、第1回 伊丹市立少年愛護センター 運営協議会を開催しました。令和6年度の事業報告に関する質問・協議が活発に行われ、今年度の事業計画についても全て承認されました。

情報交換で、伊丹警察署から「大人の規範意識と監護能力をどのように上げていくか」「若者が闇バイト等トラブルに巻き込まれないようどのように未然に防ぐか」について、全力で取り組んでいるとの報告がありました。

その一つの取組みとして、夏季休業中、市内中学校の生徒指導担当教諭と一緒に補導活動を行うとのことでした。

繁華街特別補導活動・夏季全市一斉愛護パトロール

・繁華街特別補導活動 - 7月25日(金) - 荻野・摂陽・桜台・稲野・有岡ブロックの少年補導委員、阪神北少年サポートセンター、宝塚市の少年補導委員等(総勢43名)で合同補導活動を行いました。3グループに分かれて、イオン伊丹保安担当の方に誘導していただき、イオン伊丹店舗内、有岡城跡公園等を巡回しました。夏休み中であったことも影響してか、親子連れが多く、中学生、高校生は少なく感じました。また、特に問題となるような場面はありませんでした。

・パトロール(各ブロック) - 7月10日(木) - 総勢94名の少年補導委員さんがPTA 連合会主催の夏季全市一斉愛護パトロールに参加しました。

【子どもと保護者のなやみの相談】

問題行動、しつけや子育て、不登校等、子ども・青少年に関する様々な相談に応じます。

- ・ 電話相談 ☎ 072-770-8742
- ・ 来所相談 ☎ 072-780-3540 (事前予約制)
- ・ メール相談 ✉ aijox@itamu.ed.jp

【保護者の方からの申し込み】

不登校、ひきこもり、いじめ、こころの相談に応じます。

- ・ 電話相談 ☎ 072-772-6171
- ・ 教育相談・特別支援教育相談 (発達相談)
- ことばの支援教室 臨床心理士・言語聴覚士との相談 ☎ 072-780-2484

【学校園を通じての依頼・申し込み】

- ・ アウトリーチ型の相談活動
- ・ 医療心理相談・医療発達相談
- ・ 教育支援センター「やまびこ」
- ・ 「メンタルフレンド」

7月補導活動	幼児 小学生	中学生	高校生 その他	大人
あいさつ	1781	168	109	533
声かけ/会話等	153	29	17	58
(内) 遊びに関して	8	7	2	0
問題 交通に関して	10	0	6	1
行動 その他	0	2	6	4

相談件数

電話相談	6 件
来所相談	3 件
メール相談	1 件

有害図書回収状

有害図書	105 冊
有害AV等	402 枚

< 8月の予定 >

7(木)	伊丹市少年補導委員連合会 役員会・定例理事会	22(金)	宝塚市・伊丹市少年補導委員 合同補導 (担当ブロック:有岡・花里・鈴原)
8(金)	広報啓発活動(笹原・鴻池)	(随時)	街頭補導活動 (各小学校区)
22(金)	有害図書回収		中学校区内補導活動 (各中学校区)
22(金)	兵庫県青少年補導委員連合会 運営委員会		電話・来所・メール相談 (愛護センター)

「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター (TEL072-780-3540) までお寄せください。

* ひょうご防犯ネット情報 (7/1 ~ 7/31) は、ありませんでした。